

# 仏教学部

# 2025

仏教学部の  
良いところは？



今楽しみな  
ことは？



2025年度より  
コース改革!



将来の夢は？

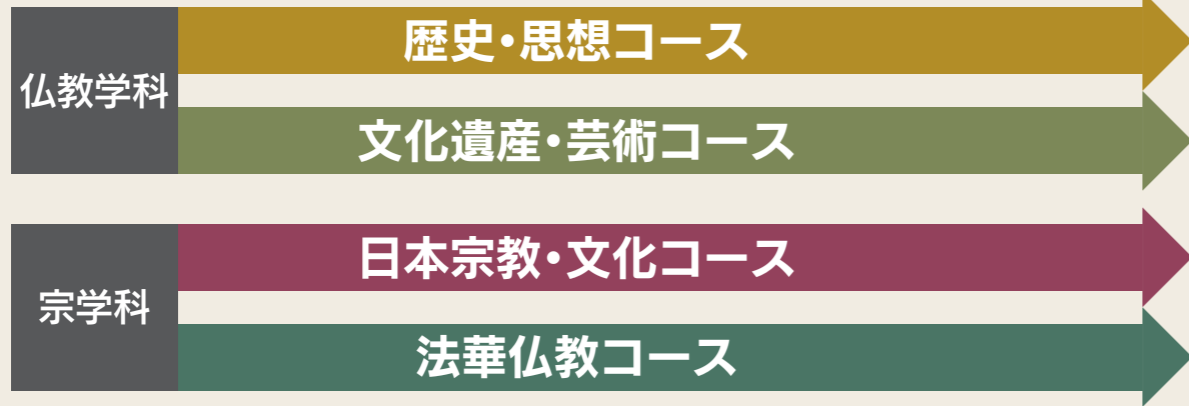


仏教学部を受験した  
きっかけは？



# 2025年度より新コーススタート!

魅力的なカリキュラムでさらに学びの幅が広がる!



## どこにもない学びが、それぞれの未来につながっていく。

### 仏教学部で身につけるのは「いまを生きる教養」

グローバル化や情報化が社会にひずみを生み、世界のあちこちで文明・文化の衝突が起こる現代。仏教学部の学びには、こうした難問を解決するヒントが詰まっています。仏教の叡智が教えてくれるのは、自己も他者も尊重することの大切さと、どんな未来にもつながる普遍性を備えた「いまを生きる教養」です。

### 入学後、3年次進級の時に学科(コース)を決定。

多様性を備えた仏教学部の学びの中から、本当に自分が学びたい分野・テーマを見出すため、1・2年次は仏教全般にわたる基礎を幅広く学びます。そして、3年次進級の際に学科(コース)を決定し、専攻分野の学びを深めていきます。新しい学びの形の中で、あなたの未来を見つけてください。



立正大学に住み着いて、仏教に縁のある人の前に現れる白い妖精「フッダン」。仏教学部の卒業生が創り出した、みんなに愛されているキャラクターです。

### 立正大学仏教学部入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

- 仏教学部では、学部の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。
- 1 正義を尊ぶ高い倫理観を持ち、仏教を通じて自己形成と社会貢献を志している者
  - 2 仏教を中心とした歴史・思想・文化・芸術・宗教などに深い関心を持っている者
  - 3 学問に対する向上的意志を有している者

仏教学科  
歴史・思想コース

約2500年前のインドで生まれ、日本を含むアジア各地、さらに世界へと広まっていった仏教。自己と他者を理解し、いかに受け入れるかを説く仏教の本質は、どういった経緯をたどり大成されたのか。その歴史的な流れと、仏教を形づくるさまざまな思想・教理を学んでいきます。



→P.6

仏教学科  
文化遺産・芸術コース

多彩で個性的なアジア各国の文化を、ほかの文化圏との比較の視点に立ち学んでいきます。アジアにおける文化・芸術のルーツの一つである仏教について、精神性や時代背景も含めて総合的に学修し、さらに理解の一助として美術作品の制作にチャレンジすることもできます。



→P.6

宗学科  
日本宗教・文化コース

発祥の地インドから西域を経てもたらされた仏教は、日本の習俗や宗教に影響を受けつつ、「日本仏教」を形成しました。さらに新たな習俗を生み出し、私たち日本人の精神に深く根ざしています。日本の歴史や文化を知るために、日本仏教を中心とした宗教の歴史・思想を理解していきます。



→P.7

宗学科  
法華仏教コース

立正大学建学の精神であり、現代社会の実現すべき課題ともいえる「真実」「正義」「和平」。この3つの信条に忠実であろうと数々の試練に耐え、人々の救済に尽くした日蓮聖人の生涯、および日蓮思想の源流である法華経を探究していくことで、他者を思いやり、教えを実践できる精神性をはぐくんでいきます。



→P.7

# 1・2年次の学び

学びの楽しさを知り、さまざまな出会いを通じて視野を広げる。

高校時代とは異なる学修への取り組み方を修得。多様な視点から仏教全般にわたる基礎知識を身につけ、原典講読に必要な古文・漢文のスキルも磨きます。



新たな生活・新たな学びへの不安を解決！

## 新入生オリエンテーション

チームで取り組むユニークなイベントも導入。

入学後すぐに開催される新入生オリエンテーションでは、学部の先輩たちと交流を深めるグループワークに加えて、暗闇の中で視覚以外の感覚を使ってさまざまな体験をする「ダイアログ イン ザ ダーク」を実施。仲間と協力して課題に取り組むことで、自然に一体感が生まれます。学部を挙げて新入生を迎える温かな雰囲気は仏教学部の特色です。



## チューター制度

学部の先輩・大学院生が学生をサポート。

仏教学部では、学生一人ひとりの学修・生活をサポートすることを目的に「チューター制度」を導入しています。学部の先輩や大学院生が「チューター」として仏教学部懇談室に常駐し、「レポートを書きたいが、何から始めればよいか?」「読んでおくべき本は?」「勉強とサークル活動を両立するにはどうすればよい?」など、身近な疑問・質問に答えます。懇談室のドアは常にオープン。入りやすい雰囲気が新入生にも大好評です。



## 仏教学演習基礎

仏教の多様性と普遍性に触れ、専門的な学びの基礎を固めます。

学びの中で、専門テーマを選ぶ手がかりが見つかるはず



庄司史生 准教授



仏教はインドで生まれましたが、その後さまざまな国と地域で展開され、発展してきました。日本の仏教もそのひとつですが、それがすべてではありません。そうした仏教の多様性を知り、仏教の根幹にある「生」と「滅」、「諸行無常」という言葉で表現できる普遍的な思想を理解することが「仏教学演習基礎」の目的です。誰にでも必ず死は訪れ、人生は限りあるものだという仏教の教えは、だからこそ前向きに生きようという私たちへのエールでもあります。

## 研究入門

3年次進級時のコース選定の迷いを解消するために4つの「研究入門」科目を開設しています。

3年次進級時の学科(コース)決定を見すえた導入科目として、1年生に向けて各コースの名称を冠した4つの「研究入門」科目を開設し、各コースにおける学びの内容や特色、研究法について丁寧に解説します。「このコースではどのようなことを学ぶの?」といった疑問の解決と、多様な仏教学部の学びの中から、自分が本当に学びたい分野・テーマを見出すことが、科目開設の狙いです。

● 1年次：2科目以上選択必修(3科目以上履修推奨)



● 3年次進級時

学科(コース)を決定

※2025年度からのコース改革で科目名が変更になる可能性があります。

## アジア文化史

アジアの多様な文化を学び、視野を広げます。

各地の歴史や文化に触れることで、新たな気づきを得られます



久保真紀子 准教授



「アジア文化史」では、アジアで展開された文化の諸相を学びます。特に、南アジアと東南アジアを中心に、仏教やヒンドゥー教をはじめとした諸宗教の思想的特質や、そうした思想に基づき創造された建築や美術の多様な表現に注目します。文化の担い手となった人々の営みを浮き彫りにし、私たちの文化とアイデンティティのルーツをたどります。

## その他の1・2年次主要科目

- ・文献読解基礎演習
- ・東洋文化史
- ・日本文化史概論
- ・サンスクリット語初級
- ・芸術実習基礎
- ・インド仏教史
- ・仏教学概論
- ・日本仏教史概論
- ・日蓮聖人伝 など

※2025年度からのコース改革で科目名が変更になる可能性があります。

## 仏教学部生のWeekly Routine

続きは Instagramで

# 歴史・思想コース



## 世界の異なる歴史や思想を多面的に学び、ものごとの本質を理解する力を育みます。

歴史・思想コースは、仏教の思想そのものや歴史的背景の理解を目的に、ていねいに文献・史料を読み解く手法を身につけることをめざします。

伝統的な仏教学の柱であるアビダルマ・中観・唯識・天台・華嚴の諸思想や、日本人の思惟方法に大きな影響を与えた法華經の思想・教理などを系統的に学びます。

### 【学びの領域】

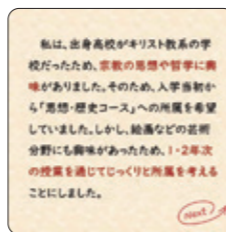
- 原始仏教の思想
- 部派仏教の教理
- 大乘仏教の思想
- 仏教の発祥と展開
- 仏教と他宗教の思想を比較検証
- 文献・史料の読み方
- 多言語の学修(サンスクリット語、チベット語ほか)

### 仏教学部生のWeekly Routine



続きは Instagramで

### 学科コース選択体験談



続きは Instagramで

※所属コース名は取材当時のものです。

# 日本宗教・文化コース



## 宗教や文化をとおして、日本社会が抱える問題について考える力を身につけます。

インドで生まれた仏教は、長い道のりを経て日本に伝播し、日本の習俗や宗教に影響を受けながら「日本仏教」を形成しました。日本宗教・文化コースでは、日本仏教を中心とした宗教に焦点をあて、日本の歴史や思想、文化について学びます。また、「人間とは何か」という問題を考えながら、現代社会が抱えるさまざまな問題にアプローチしていきます。

### 【学びの領域】

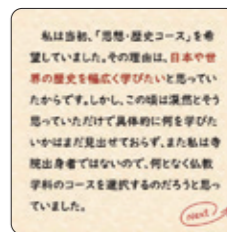
- 日本仏教の歴史的展開
- 日本の宗教史
- 宗教と日本文化
- 仏教各宗派の教義
- 現代社会と日本の宗教

### 仏教学部生のWeekly Routine



続きは Instagramで

### 学科コース選択体験談



続きは Instagramで

※所属コース名は取材当時のものです。

# 文化遺産・芸術コース

## 仏教の智慧と“文化”の捉え直しをとおして、現代社会を生きる底力を身につけます。

仏教の智慧と文化がつむぎ出す過去・現在・未来を、美術史・比較文化・文化遺産などの観点から探ります。

さらに仏像・仏画の制作など多くの体験学修を取り入れて、多角的な文化理解アプローチをするのが特長です。

### 【学びの領域】

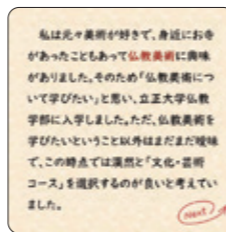
- アジアの精神文化
- 南・中央・東・東南アジアの仏教美術・仏教建築
- 異文化の検証(ヒンドゥー教・儒教ほか)
- 日本の仏教文化
- 文化財の維持・継承
- 仏像・仏画の制作実習

### 仏教学部生のWeekly Routine



続きは Instagramで

### 学科コース選択体験談



続きは Instagramで

※所属コース名は取材当時のものです。

# 法華仏教コース

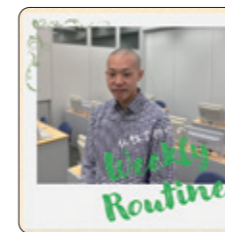
## 日蓮聖人の思想や行動をたどり、法華經の教えを自ら実践しながら受け継ぐ担い手を育成します。

国の内外に騒乱の火種を抱えていた鎌倉時代、数々の試練を物ともせず人々の救済に生涯を捧げた日蓮聖人(1222-1282)。その生き方は、現代を生きる私たちにもさまざまな示唆を与えてくれます。法華仏教コースでは、日蓮聖人の思想や行動、その礎となった法華經の教え、日蓮教団の歴史的展開に関する学修を通じて、高尚なる精神性を学びます。

### 【学びの領域】

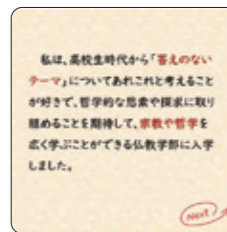
- 日蓮聖人の著作・手紙の学修
- 法華經の学修
- 日蓮教団の成立と展開
- 仏教の総合的な理解
- 21世紀社会と法華仏教のあり方

### 仏教学部生のWeekly Routine



続きは Instagramで

### 学科コース選択体験談



続きは Instagramで

※所属コース名は取材当時のものです。

# 国内外のさまざまな文化を体験する人気のカリキュラム。

## 国内仏教文化研修

### 鎌倉・伊豆

#### 東国の古佛を巡る旅

伊豆地方に数多く遺されている平安期から鎌倉期の仏像彫刻を主軸として、関東地方に遺る慶派仏師の作品等を拝観する研修を行いました。各時代の造形様式の違いを感得するとともに、平安前期の仏像が伊豆地方で多数造立された経緯などについて、自らの感触に基づいて探る機会となりました。



### 岡山・香川

#### 日本仏教の庶民信仰をたどる

備前法華や稲荷信仰、四国八十八箇所霊場に見る大師信仰や金比羅信仰、日蓮教団史上の在家信仰の特徴、そしてその背景となる地域の文化・歴史の変遷について体感的に学ぶことを目的として、岡山県、香川県での研修を行いました。



## 海外仏教文化研修

### ウズベキスタン・タジキスタン

#### 中央アジア古代仏教遺跡巡り

ウズベキスタンでは、立正大学が学術調査を進めるズルマラ仏塔やカラテペ、カンピルテペ、ファヤズテペなどの仏教遺跡と、イスラム時代の都市遺跡であるヒヴァ、サマルカンドなどの世界遺産を見学。タジキスタンでは、アジナテペなどの仏教遺跡や、ペンジケント、サラズム遺跡などを巡りました。



### インド

#### インド三大仏教遺跡参拝と現代インドの仏教見聞

海外仏教文化研修がスタートした1994年以来、4年に一度の割合で仏教発祥の地を訪問。インド三大仏跡として知られるブダガヤ、サルナート、霊鷲山の他、コルカタやダーズリン、ナグプールなどで現地研修を行いました。インド仏教の過去と現在を理解する機会となりました。



### ネパール

#### 立正大学の過去・現在・未来を辿る

後のゴータマ・ブッダ、シッダールタ太子が出家するまでの歳月を過ごしたカピラ城。その城跡は1967年から立正大学が発掘、都城跡と確認されました。この地で立正大学とネパールの交流の歴史を振り返るとともに、太子生誕の地ルンビニやネパール文化の中心地カトマンズ盆地で数多くの世界遺産を体験しました。



その他過去の訪問地 ●本行寺、根本寺、世尊寺、妙照寺【新潟県(佐渡)】●仁徳陵古墳、飛鳥寺、橘寺、法華寺【大阪府・奈良県】●比叡山延暦寺、神護寺、教王護国寺(東寺)【京都府・滋賀県】●富貴寺、白柵大仏【大分県国東半島・福岡県】●願成就院、修禪寺、南禅寺【静岡県(伊豆)】●アカデミア美術館、メディチ家礼拝堂【イタリア】●シギリヤロック、タンブラ石窟寺院【スリランカ】●アンコール・ワット【カンボジア】●ポロブドゥール【インドネシア】●五臺山、天台山【中国】●アクロポリス遺跡、デルフィ遺跡【ギリシャ】●エフェソス遺跡、カッパドキア石窟群【トルコ】

## 就職支援

# 2年次から始めるホンキの未来探し。

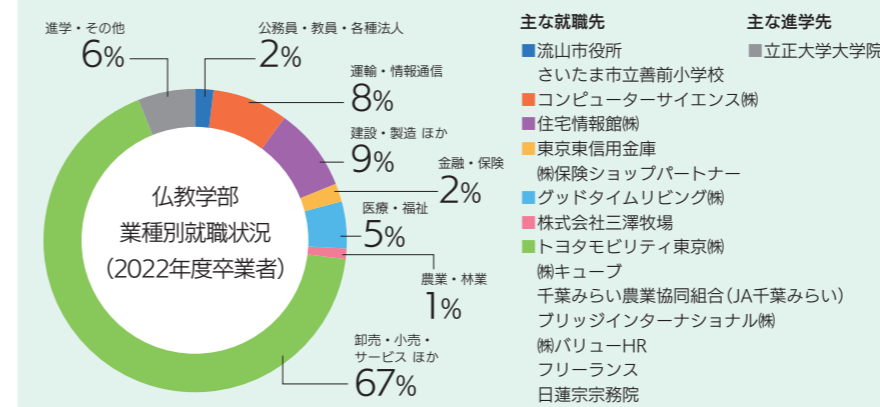
入学時から学生に寄り添い、新しい学びや生活への不安解消に向けて力を尽くす仏教学部の姿勢は、キャリア設計の場面でも貫かれています。2014年度からは、2年次の学生を主な対象に「キャリアパスガイダンス」を開催。2020年度からは、こうした仏教学部独自の取り組みをより早期化し、回数を増やすことで一層の充実を図っています。仏教学部で学ぶすべての学生が、自分らしい夢を描き、未来を手にもつことも仏教学部の人材育成の目標の一つです。



### 仏教学部キャリアパスガイダンスの実施内容 (2024年度は全3回実施予定)

- 第1回(3月下旬)：キャリアサポートセンター職員の講話**  
※SPI模擬テスト体験、立正大学キャリアサポートセンターの利用方法やセンター主催行事の案内
- 第2回(7月上旬)：キャリアカウンセラーによる講演**  
※自己分析について
- 第3回(9月下旬)：上級生や卒業生の体験談とグループワーク**  
※上級生や卒業生の進路選択や就職活動の体験談を聞き、グループに分かれて自由に議論

### 卒業生の進路



### 仏教学部で取得可能な免許・資格

- 中学校・高等学校教員：中学校「社会」「宗教」、および高等学校「地歴」「公民」「宗教」の教員免許状を取得できます(高校「地歴」は仏教学科のみ)。
- 博物館学芸員：展示や保管、資料の収集、研究などに携わる専門職です。
- 社会福祉士：地域社会で自立サポートなどの援助活動を行う専門職です。
- 図書館司書：公立・市立図書館において、収集や分類、貸出などに携わる仕事です。
- 僧階講座：日蓮宗の僧侶に求められる知識・行動を修得してもらうことを目的に設置した、仏教学部の独自資格です(僧侶としての認定を受けるには一定の条件を満たす必要があります)。
- その他：学校図書館司書教諭、社会教育主事

### 就活 Report!

#### 背中を押してくれた「仏教学部は有利」の言葉。



当時は「就職氷河期」という時代だったので、2年次の頃から就職に対してあせりを感じていました。仏教学部出身というプロフィールを、企業の採用担当者がどう受け止めるのだろうかという不安もありました。そんなとき、ゼミの先生から「仏教学部は有利だよ」と

の言葉をもらいました。実際、面接などでは仏像制作の話で大いに盛り上がり、内定を得ることができました。

私自身の経験から言えるのは、就職活動のスタートは早ければ早いほどいい、ということです。自分の個性や社会で自分ができることはなんなのか、なにがしたいのか。そうした自己分析は、このガイダンスをきっかけに今すぐ始めましょう。早めに卒業後の進路を見つければ、4年次にはゆとりをもって卒業論文や卒業制作に取り組むことができます。

### 就活 Report!

#### 気になる会社のインターンシップには度々参加。



就職活動のスタートは比較的早く、3年次には5~6社のインターンシップを体験しました。現在の勤務先もその中のひとつ。陸上部に所属していたこともあり、ヘルスケア事業に興味を感じ、この会社のことをもっと知りたいとその後も度々インターンシップに参加。3回

目のときに面接の機会を得て、内定に結びつきました。私がそうであったように、インターンシップは将来を決める大切な機会でもあります。十分な準備をして、真剣に取り組んでほしいですね。

入社後は、すぐに店長としてキャリアをスタートさせました。落ち込むこともありますが店長という責任のある立場が自分を育ててくれているように感じています。

# 仏教学部生のリアルボイス



## 立正大学仏教学部の学生に聞いてみました



## 学生トーク



## 卒業制作プロモーションムービー



### 情報満載! 公式SNSも要チェック!

仏教学部公式X



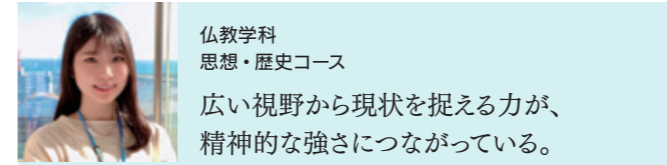
仏教学部公式Instagram



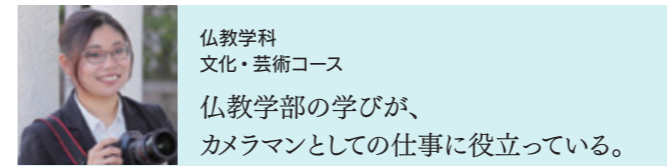
仏教学部公式YouTube



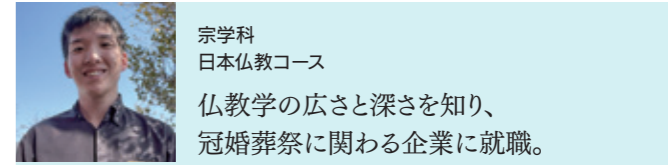
# 卒業生に聞いてみました



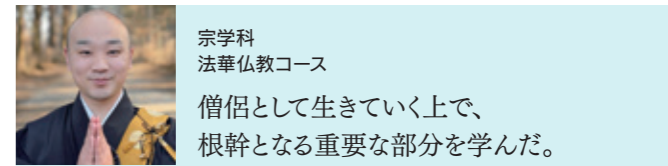
高校生のころ、倫理の授業で触れた東洋思想に強い興味を抱き、仏教学部に進学することを決めました。大学の授業では「仏教史特講」が特に印象に残っています。仏教で最も重要な教えの一つである「空」の思想の変遷に、知的興奮を覚えました。また、三論宗の嘉祥大師吉蔵について学びましたが、苦手だった歴史も思想ベースで学ぶとすんなり頭に入ったことが衝撃的でした。先生方にはいろいろな質問をしましたが、聞けば聞くほど謎が深まり、知れば知るほど自分の無知が暴かれるため、仏教思想の奥深さに感服する毎日でした。現在は、自治体向けのソフトウェア開発を行っている企業でSE（システムエンジニア）として仕事をしています。コンピューターのプログラミングと仏教はだいぶ距離があるように思われるかもしれませんが、激務が続いたときには、仏教学部の学びが精神的な面でとても役立っています。輪廻転生の概念からも分かるように、仏教はマクロな視点からものごとを分析することが多いと思います。仏教学部での4年間の学びは、そんな広い視野があることを私に気づかせてくれました。同時に、自分の現状を客観的に判断する力や、精神的な強さも身につけてくれたのではないかと考えています。



高校生のころは仏像鑑賞が趣味で、どうしても仏像を作ってみたかったのですが、立正大学仏教学部の秋田ゼミでは卒業制作として仏像や仏画を制作すると知って、志望を決めました。仏教学部は、実習を含めた美術面での学びが充実しているのが魅力だと思います。また、実習以外でもっとも興味深かったのは、3年次に履修した「比較宗教文化論」です。仏教と他の宗教の相違点や類似点を比較しながら理解していくのが面白く、おかげで世界のニュースに対する理解度も上がった実感がありました。卒業後は、成人式やウェディングの振り袖やドレスなどのレンタルサービスをメインに全国展開している企業に就職し、カメラマンとして仕事をしています。いい写真を撮るために重要なのは、被写体の表情やポーズ、そして画面の構図です。大学のゼミで仏像を作った経験は、被写体であるお客様にポーズをつけたり、画面全体の空間把握にとても役立っています。また、カメラを構えながら、仏教学部で学んださまざまなこととお話すると、お客様に興味を持って聞いていただけるので、会話が弾んで緊張感が解け、素敵な笑顔を見せてくださいます。



高校3年のときに立正大学の大学案内を見て、仏教学部のカリキュラムに「仏教デス・エデュケーション」という科目があることを知って興味をわき、いろいろ調べて志望を決めました。人間は必ず死を迎える存在ですが、「仏教デス・エデュケーション」は仏教における死との向き合い方を学び、現代社会における死について考える授業です。私は以前から死生観に関心があったため、とても考えさせられました。大学4年間の学びを通して仏教学の広さと深さを実感し、未知の世界を知ることができました。このような経緯から、冠婚葬祭に関わる事業を幅広く展開する企業に入社し、事業部の運営企画にも携わっています。仕事ではさまざまな人に接する機会が多く、中には苦手なタイプのときもありますが、それもその人の個性だと思えるようになったのは、仏教学部で学んだ4年間があったからだと感じています。



私は寺院で生まれ育ち、仏教が常に身近であったものの、仏教の知識や教えを何も知らなかったため、仏教学部を志望しました。大学では、先生方が一人一人の学生と真剣に向き合い、それぞれの個性に応じて熱心な指導をなさっている姿に心を打たれました。悩みの尽きない人生に、仏教をどのように生かしていくか。人々をどのように幸せにできるか。僧侶として生きていく上で根幹となる重要な部分を、仏教学部で学ぶことができました。また、仏教や日蓮聖人の教えを多角的な視点から学ぶことができたのも、仏教学部の特徴の一つだと思います。キャンパスは都心にありながら静かで、整備された環境で4年間を過ごすことができました。現在は、僧侶を志す立正大学の学生のための学寮で、副寮監として仕事をしています。僧侶として、人として一番大切な心を育てていく立場にあり、日々誠心誠意学生に向き合い、少しでも良い方向に向かってくれることを願っています。指導の場が私がお手本としているのは立正大学の先生方です。お釈迦様や日蓮聖人の精神を受け継ぐ立正大学では、人の心に寄り添った指導をしていただきました。これからは、私とその精神を学生につないでいきたいと考えています。



※所属コース名は取材当時のものです。

# 「立正大学仏教学部寄付基金奨励金」 はじめました！



立正大学仏教学部では、仏教学部卒業生を中心とした、本学部の教育・人材育成に共感しご支援いただいた寄付金を基金とした「立正大学仏教学部寄付基金奨励金」制度を創設しました。

入学後、自らの夢や目標をしっかりと持ち、仏教学部での学びを通じて、その実現に向かって日々努力を重ねる新入生に、返還の必要のない奨励金による経済的支援を行います。

## 立正大学仏教学部寄付基金奨励金

支給額	1名あたり30万円(返還不要) <sup>※1</sup>
支給人数	若干名
支給対象者	入学年度前11月末までに実施される以下入学試験合格者のうち申請を希望し、かつ奨励金選考に合格した方 ・総合型選抜(前期) ・学校推薦型選抜(指定校制推薦選抜、公募制推薦選抜、付属・準付属校対象推薦選抜) ・特別選抜(社会人対象選抜)
支給申請から 支給決定まで	①入学試験合格者に送付される「入学書類」に「立正大学仏教学部寄付基金奨励金案内」を同封しますので、案内に従って申請をお願いします。 ②申請にあたり、所定書式の送付をお願い致します。受付期間・送付方法等、詳細は「立正大学仏教学部寄付基金奨励金案内」をご確認ください。 ③提出された書類、入学試験の成績等を用いて仏教学部にて選考を行います。(選考のための来校はありません) ④選考結果が判明次第、結果を通知します。 ⑤支給対象者には、入学後に30万円を支給します。 <sup>※2</sup>

※1 学業不振等、奨励金支給対象要件を欠く場合には、返金を求める場合があります。

※2 「立正大学仏教学部寄付基金奨励金」支給には、定められた期日までに所定の入学金・学費等の納入をお願いします。

## 立正大学 仏教学部案内 SALA 2025

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

電話：03-3492-8528 E-mail：bst@ris.ac.jp

仏教学部オリジナル・ホームページ

<https://bukkyo.rissho.jp/>

